



第5章 将来像・基本方針



<令和7年度第2回ゼロカーボンワークショップ 参加者「ゆうさん」の作品>

※コミュニケーショングラフィック®の手法を学び、調布の未来をこんなまちにしたいというイメージを、グラフィックで描いて共有し、共感から行動につなげるワークショップを行う中で生まれた作品です。

(1) 目指す将来像

この計画を策定するに当たり、市民の皆さんからは「そもそもゼロカーボンってどういうこと?」「具体的な取組方法が分かれば実践できるのに」という声を多くいただきました。また、事業者の皆さんからも、脱炭素化に取り組む上での問題点として「知識やノウハウの不足」があげられ、行政からの積極的な情報発信と各主体における実践の積上げが課題として浮き彫りになりました。

年を増すごとに気候変動を肌で感じる危機的状況の中、脱炭素行動を一層加速させるためには、これまで目指す将来像としてきた「ひとりひとりの“かしこい選択”」を積み重ねることにとどまらず、その取組を波及させていく「地域の力」が必要不可欠です。

私たちが目指す「ゼロカーボンシティ調布」の実現に向けた取組は、CO₂排出量の実質ゼロを達成する取組であると同時に、それを目指す過程で地域のさまざまな主体がつながり、コミュニティの活性化や防災力の向上など、新たな生活の豊かさが生まれるまちを目指す取組です。

これからも調布の良さと快適な暮らしを守り、それが次世代にも受け継がれるよう、脱炭素行動が“自分ごと化”され、それが日常となる姿を思い描き、新たな将来像を設定しました。

調布市気候変動アクションプログラムにおいて目指す将来像

このまちの安心を 次世代の「あたりまえ」に
～まちのチカラ みんなのチカラで ゼロカーボン～

(2) 施策・取組推進に向けた5つの基本方針

- ゼロカーボンシティ調布の実現 に向け、5つの基本方針を整理し、今後の施策・取組を推進します。



基本方針 1

住宅・建築物の省エネルギー化を進める

～断熱改修等による建物のエネルギー需要の削減、設備機器の高効率化などエネルギー効率の向上を推進

基本方針 2

再生可能エネルギーの導入拡大を図る

～次世代太陽電池など先進技術の活用についても検討を進め、再エネの導入を拡大

基本方針 3

地域でエネルギー・資源を有効利用するとともに、エネルギー・資源を循環させる

～防災力の向上、エネルギー自給率向上を図るとともに、一層のごみの3Rの推進と環境負荷の低減を推進

基本方針 4

気候変動への適応策を推進する

～市民に身近で大きな脅威となっている猛暑や豪雨など、気候変動の影響による被害を回避・軽減

基本方針 5

ゼロカーボンに向けて行動する地域のつながりを創る

～市民・事業者・地域の担い手が「共通体験」できる場を創り、「つながること」「ゼロカーボンに取り組むことをメリットと感じていただき、取組の定着化とオール調布の機運を向上

ゼロカーボンシティちようふ

【目指す将来像】

このまちの安心を 次世代の「あたりまえ」に
～まちのチカラ みんなのチカラで ゼロカーボン～

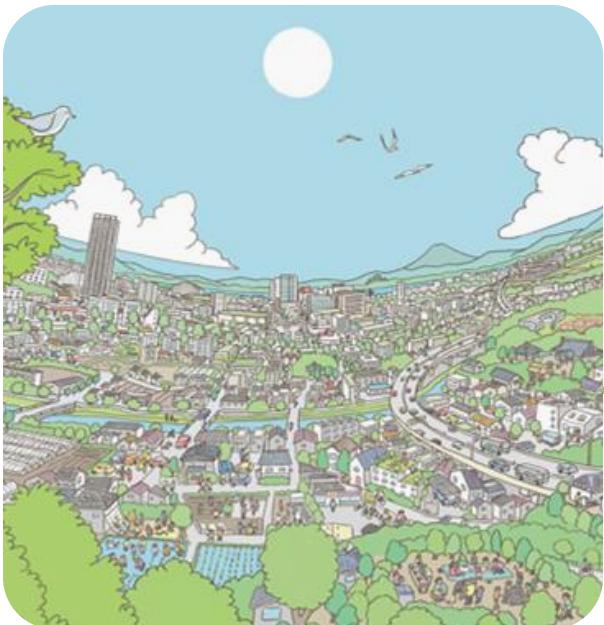


共感

応援

便利

身近



住宅・建築物の省エネルギー化の推進

再生可能エネルギーの導入拡大

地域でのエネルギー・資源の有効利用と循環の推進

気候変動への適応策の推進

ゼロカーボンに向けて行動する地域のつながりの創出

5つの基本方針

和

豊

貢献

輪

理解

動